

派遣報告書

平成25年 5月20日

倉吉市議会議長 様

倉吉市議会
(代表) 議員 大津 昌 克



次のとおり行政視察・調査を行ったので、その結果を報告します。

記

- 1 派遣期間 平成25年 5月11日(土)から平成25年 5月12日(日)まで
- 2 派遣先 NPO法人 多摩住民自治研究所 主催
「よくわかる市町村財政基礎講座」
- 3 視察(調査)議員名 大津 昌 克
- 4 面会者
- 5 派遣目的 NPO法人多摩住民自治研究所が主催する「よくわかる市町村財政分析基礎講座」を受講し、財政分析の基礎を学ぶため。
- 6 視察の経過及び感想

添付書類〔別紙1〕参照
- 7 添付書類
 - (1) 研修内容及び感想について〔別紙1〕
 - (2) テキスト表紙(写)〔別紙2〕
 - (3) 修了証(写)〔別紙3〕

要した経費：1人合計 80,732円

〔別紙1〕

「よくわかる市町村財政基礎講座」

研修内容及び感想について

報告者：大津 昌 克

と き：2013/5/11(土)～5/12(日)

と ころ：富士電機能力開発研究センター

主 催：多摩住民自治研究所

5月11日(土)～12日(日)の2日間、延べ10時間にわたって標記の講座を受講してまいりました。この講座は、NPO法人多摩住民自治研究所(東京都日野市)という民間団体の主催で行なわれました。今回中心となったのは、①新たに公開された財政分析状況資料集の見方と、②誰にでも分かる財政健全化法の解き方です。

まずは参加するにあたって事前準備資料を求められました。それは自分の自治体の決算カード、財政状況資料集、財政比較分析表、歳出比較分析表、財政状況一覧表、健全化判断比率、資金不足比率カード等です。一部は財政課にお願いして昭和60年まで遡った資料を揃えていただきました。なぜ昭和60年かというと、財政を分析するにはバブル前からのデータを調査する必要があるからとの事でした。その統計は各地方公共団体によって若干の違いはありますが、バブル崩壊や市町村合併、リーマンショック等の時にどんな政策がうたれたかが分かります。

研修初日には、説明を受けながら決算カードの数字を分析シートに転記する演習を行ないました。演習にあたっては、あまり詳しく説明がされないため疑問が多々起きましたが、講師いわく最初はとにかく慣れることが必要とのことで、数字の見方を徹底的に練習しました。そして数字を転記した分析シートをもとに、歳入、歳出の仕組みの解説を受けました。かなり内容が盛り沢山で13時～19時30分の6時間30分の時間が足りないくらいでした。2日目は、地方交付税算定台帳の使い方や「地方財政健全化法」の概略、「財政状況資料集」などの見方と、初日に作成した分析シートのグラフ化、分析の方法などを学びました。

今回の講座は本当に基礎的な部分でしたが、恥ずかしながら今まで知らなかったことが多く、本当に参加してよかったと思います。今「中央集権から地方分権」へといわれる中、財政力の乏しい地方都市として財政問題は重要だからです。

議会は市政を監視するチェック機関であると同時に、事業・予算や条例制定・改廃等の最終決定機関でもあります。我が市の財政状況はどうか、行なわれている事業は住民の福祉や公益にかなっているのか、真剣に判断することが求められます。さらには法令どおりに事務は行なわれているか、条例の運用はどうかなど、税務、法務といったより専門的な能力も無ければいけません。

昨今、めまぐるしく移り変わり行く時代の中、その変化を敏感に察し地方自治活性化に向けて益々の努力をしなければいけないと感じています。常に学び実践につなげ、市民の皆様のお役に立てるよう精励してまいりたいと思います。それが議員の役目であると肝に銘じ、今回の研修報告といたします。ありがとうございました。

